

USER MANUAL

TIMELINE

strymon[®]

Ver.1.71

もくじ (クリックすると指定のページへと移動します)

FRONT CONTROL PANEL	3
DELAY MACHINES	4
REAR PANEL	4
FILTER & GRIT CONTROLS	5
ディレイタイム・レンジとディスプレイ	5
EXP - エクスプレッション・ペダルの使用	6
バンクとプリセット	7
パラメーターの編集	8
ディレイマシーン : DIGITAL	9
: DUAL	10
: PATTERN	11
: REVERSE	12
: ICE	13
: DUCK	14
: SWELL	15
: TREM	16
: FILTER	17
: LO-FI	18
: dTAPE	19
: dBUCKET	20
ルーパーの設定	21
グローバルメニュー	22
FEEDBACK LOOP	24
MIDI スペシフィケーション	25
主な特徴	26
スペシフィケーション	26
追加 : ファームウェアのアップデート	27

FRONT CONTROL PANEL

TYPE

ディレイ・マシンのタイプを選択します。デジタルからテープまで、その他のアルゴリズムが自由に選択できます。このコントロール・トグルを押すと、BANK と DELAY TIME の表示が切り替えられます。また、押しながらホールドすると、プリセットがセーブできます。

⚠ パラメーターやグローバル・メニューが表示されている時、このスイッチを押すとバンクやタイムの表示に戻ります。

VALUE

ディレイのパラメーターやグローバル・セッティング、ディレイ・タイムのファイン・チューンを行ないます。各ディレイ・マシン・タイプは、それぞれ異なる調整パラメーターを備えています。

TIME

ディレイ・マシンそれぞれのディレイタイムを設定します。そのディレイタイム範囲は・マシンによって異なります。

REPEATS

エコー（ディレイ）のリピート数を調整します。最小で1回、最大では発振を伴った永続的なリピート音が得られます。

MIX

ドライ信号とウェット（エフェクト）信号のバランスを調整します。最小でドライ100%、最大でウェット100%に設定できます。このミックスは完全にアナログドメインで行なわれ、3時の位置で1:1比のミックスが得られます。



FILTER

フィルター・シェイプを設定します。dTAPE ではテープエージ、dBUCKET では Lowpass フィルター、FILTER では LFO のセンター周波数をコントロールします。

GRIT

LO-FI プロセスをコントロールし、歪みやサイドエフェクトを加えることができます。dTAPE ではテープバイアス、dBUCKET ではバケットのロスをコントロールします。

MOD SPEED

ディレイ用モジュレーションの LFO スピードをコントロールします。dTAPE ではテープの揺らぎをコントロールします。

MOD DEPTH

ディレイ用モジュレーションの深さをコントロールします。dTAPE ではテープのワウ&フラッターをコントロールします。

A FOOT SWITCH

プリセットのオン/オフ、ディレイのホールド、A+B でプリセットの BANK ダウン、ルーパーモードではレコード & オーバーダブのスイッチングを行ないます。

B FOOT SWITCH

プリセットのオン/オフ、ディレイのホールド、B+TAP でプリセットの BANK アップ、ルーパーモードではプレイのスイッチングを行ないます。

TAP FOOT SWITCH

タップインテンポの入力、ホールドでルーパーのイン/アウト、ルーパーのストップ機能を行ないます。

LED A & B

緑色でオン、オレンジ色でプリセットが変更された状態、消灯でバイパスの状態を示します。

TAP LED

ディレイ・タイムの、4分音符のタイミングで点滅します。Looper 使用時には赤と緑に点滅します。

BANK SELECT

フットスイッチ A と B を同時に押すと低い方のバンクに移動します。フットスイッチ B と TAP を押すと高い方のバンクに移動します。バンク切換え時、ディスプレイには「B.A.N.K」と表示されます。フットスイッチ A または B を押して、バンク中のプリセットを選択するとバンク選択が完了します。

DELAY MACHINES

dTAPE / D テープ

El Capstan にも採用されている strymon 独自のアルゴリズム：テープ・エコーを完璧に再現します。シングルヘッドタイプのマシンに限定されています。

コントロール：Tape Age、Wow & Flutter、Tape Crinkle、Tape Bias、Low End Contour、Tape Speed。

dBUCKET / D バケツ

Brigadier、Ola、Obit に採用されている dBucket テクノロジーを採用しています。アナログ BBD チップの全特性を確実に再現し、アナログ・ディレイペダルの限定的なサウンドから、優れたスタジオレベルの BBD サウンドまで実現してくれます。完璧な BBD チップの再現が、パフォーマンスが劣化した際のサウンドを再現する、独自の Bucket Loss、Filter、Mod コントロールも備え、奔放なサウンドクリエイションが可能です。

DIGITAL / デジタル

オリジナルの Damage Control の「TimeLine」を継承しました。クリスタル・クリアなデジタルディレイサウンドを生み出すアルゴリズムです。Filter、Grit、Smear、High Pass、Modulation を備え、ディレイサウンドのトゥイックも自由自在です。更に、リピート音を自然な減衰カーブで再生する「non-linear mode」も備えています。

DUAL / デュアル

2 系統独立したディレイラインです。シリーズ、パラレル (LR のスプリット) 接続が可能です。2 番目のディレイには独立した Mix、Repeat、Time を備えており、1 番目のディレイの設定バリューを追従します。

PATTERN / パターン

Pattern マシンは、マルチタップ・パターンを自由自在に組み立て、シンプルなピンポンパターンから複雑なリズムやアンビエント効果まで設定が可能です。Filter、Grit、Mod コントロールがディレイサウンドに幅広い変化を与え、様々なディレイ・エクスペリエンスを届けてくれます。

REVERSE / リバース

プレイしたフレーズを逆再生します。プレイの再開でトリガーされる様に設定できます。Smear 機能で周波数レンジを落とすことなくサウンドをソフトにできます。

ICE / アイス

Ice マシンは入力信号を細かく分けて、設定したインターバルにシフトして再生します。インターバルは、オクターブ下からオクターブ上、5 度上の追加、それらの間のシフトが設定可能です。Ice 量はゼロから 100% までブレンドが可能です。スライス (分割) サイズが更なる可能性を引き出し、シフト量に変化を与えます。

DUCK / ダック

ダックディレイ (ダイナミック・ディレイ)：ダッキングは感度やリリースタイムが設定できます。また、フィードバック・ダック・オプションも備えており、バラエティに富んだダイナミック・ディレイの設定が可能です。

SWELL / スウェル

ディレイ音をボリュームペダルで操作した様な立ち上がりで再生するアルゴリズムです。立ち上がり形 (スウェル) は可変で、ディレイタイムとマッチングすることができます。ミックスをエフェクト音のみにして、リピート音を疑似アンビエンス・エフェクトとして使う事もできます。また、立ち上がり時間も独立しており、スウェル効果を一定に設定できます。Smear (スミア・コントロール) でアタックをソフトにも調整可能です。

TREM / トレモロ

ディレイとトレモロ (オシレーター波形選択可) をシンクロしたディレイが設定できます。Depth、Speed コントロールに 5 種類のオシレーター triangle、square、sin、ramp、saw が選択でき、ディレイの増幅も可変です。

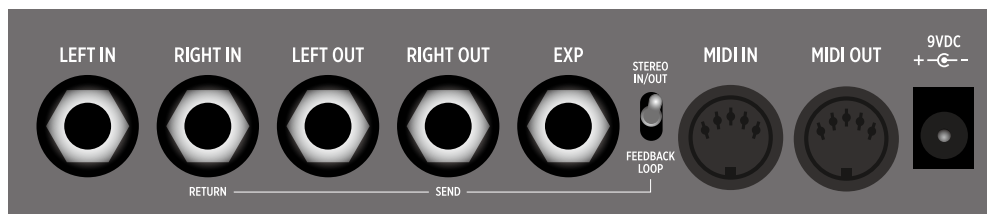
FILTER / フィルター

フィルター・ディレイは、フィルターもディレイの前後どちらにも挿入することができます。コントロール・パラメーターには、Waveshape、Depth、Speed、Resonance、Filter Location があり、全て自在に設定できます。フィルター波形には、triangle、square、sin、ramp、saw、random、up、down が選択でき、ディレイの増幅も可変です。

LO-FI / ローファイ

ディレイの音質を下げる Lo-Fi ディレイも可能です。広い範囲のビット幅やサンプルレイトが設定でき、手作り lo-fi フィルター、ラジオ、電話、フォノホーン等のサウンドが模倣できます。更に、バイナルレコードのスクラッチノイズまで追加できる様にしました。

REAR PANEL



INPUTS / 入力

ハイ・インピーダンスの入力端子です。モノラル接続する時は「LEFT IN」(左) 端子を使用して下さい。「RIGHT IN」(右) は、「FEEDBACK LOOP」の選択時にはエフェクト・リターンとして使用します。

STEREO IN/OUT・FEEDBACK LOOP

「FEEDBACK LOOP」を選択すると、ディレイのフィードバック・ラインに外部エフェクターを挿入することができます。

OUTPUTS / 出力

モノラル接続する時は「LEFT OUT」(左) 端子を使用して下さい。「RIGHT OUT」(右) は、「FEEDBACK LOOP」の選択時にはエフェクト・センドとして使用します。

EXP / エクスプレッション

エクスプレッション・ペダルを接続すると、ペダルでパラメーターをコントロールすることができます。スイッチを接続するとタップ・テンポが入力できます。

POWER / 電源

9V 以上の電源は絶対に接続しないでください。9VDC / 300mA 以上の電源が必要です。

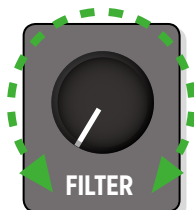
MIDI

MIDI 入出力端子です。MIDI コントロール、プログラム・チェンジ等に対応しています。

FILTER & GRIT CONTROLS

FILTER コントロールは、GRIT コントロールと共にリピート音質の忠実さを調整します。2つのコントロールを最小値に設定することによって、最もブライトでクリーンなリピート音が得られます。

▲ 以下の説明は、Digital、Dual、Pattern、Reverse、Ice、Duck、Swell、Trem と Lo-Fi デイレイ・マシーンに関するものです。dBucket と dTape におけるデイレイ・タイムのレンジとディスプレイ・シーンにおける FILTER と GRIT コントロールの効果に関しては、それぞれのセクションをご覧ください。

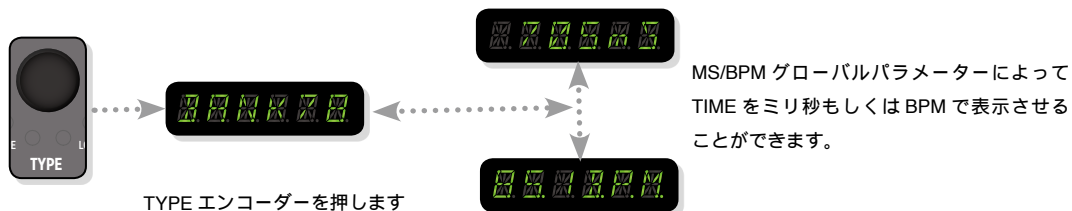


FILTER : 最小値のセッティングでは、FILTER ファンクションの EQ はフラットでフル帯域の状態です。ノブを右に回すと、リピート音が次第にダークに変わります。12:00 付近でアナログデイレイのような EQ カーブになるように設定されています。最もダークなリピート音は、12:00 ~ 2:00 の間で得られます。FILTER ノブを回し続けると、低域が次第に削られ、わずかに高域が加えられます。ノブが最大ポジションに設定された状態では、テープデイレイと似た EQ カーブになります。



GRIT : GRIT コントロールの効き具合は、入力信号の大きさによって変化します。大きな入力信号は、モードに関わらず GRIT 効果を増加させます。GRIT コントロールを大きくするにつれてウェット音の音量も変わります (こちらも入力信号の大きさに応じて変わります)。MIX コントロールでそれに応じたバランスに調整することができます。

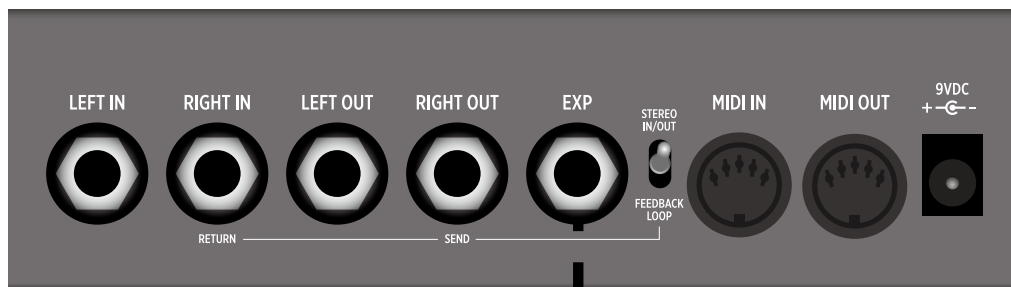
デイレイタイム・レンジとディスプレイ



Digital, Dual, Pattern, Reverse, Ice, Duck, Swell, Trem, Filter	60mS - 2500mS
Lo-Fi	2 mS - 2500mS
dBucket (RANGE = SINGLE)	40mS - 400mS
dBucket (RANGE = DOUBLE)	80mS - 800mS
dTape (TAPE SPEED = NORMAL)	60mS - 2500mS
dTape (TAPE SPEED = FAST)	30mS - 1250mS

EXP - エクスプレッション・ペダルの使用

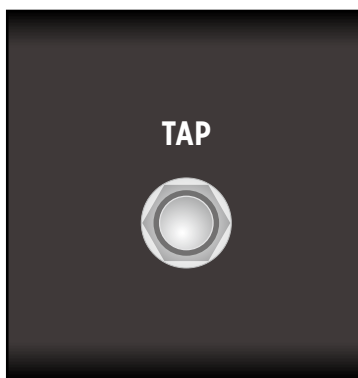
TRS 端子のエクスプレッション・ペダルを接続し、任意のコントロールを操作することができます。



EXP ジャックにアンラッチ式スイッチを接続すれば、そのスイッチを TAP 入力に使用することができます。

スイッチの接続には一般的には TRS ケーブルをご使用ください。

外部 TAP 入力を使用する場合は、グローバルメニューを設定する必要があります。(P.21 参照)

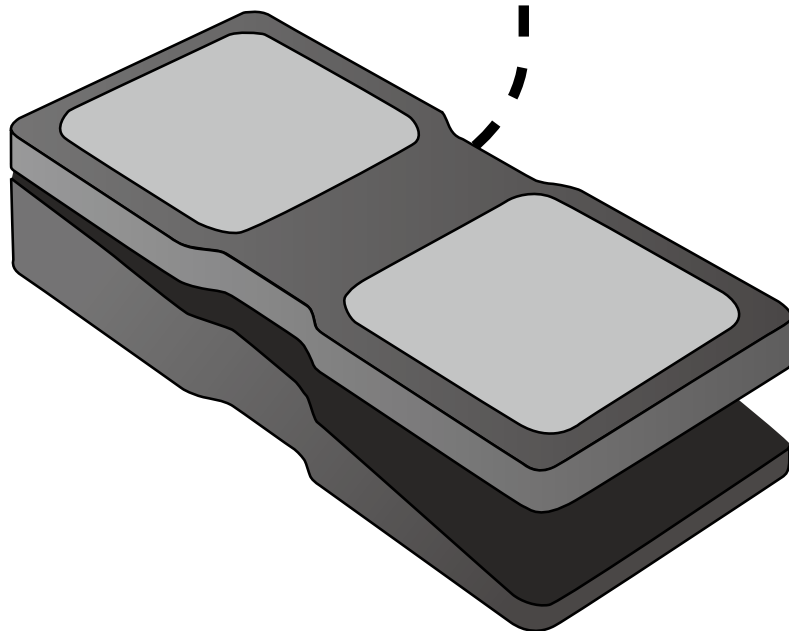


OR

エクスプレッション・ペダルは、どのノブのコントロールでも割り当てることができます。可変域を設定することも出来ます。(詳しくは、P.8 「EP SET」を参照ください)

エクスプレッション・ペダルを使用するためには、コモン・パラメーターの設定が必要です。(P.7 参照)

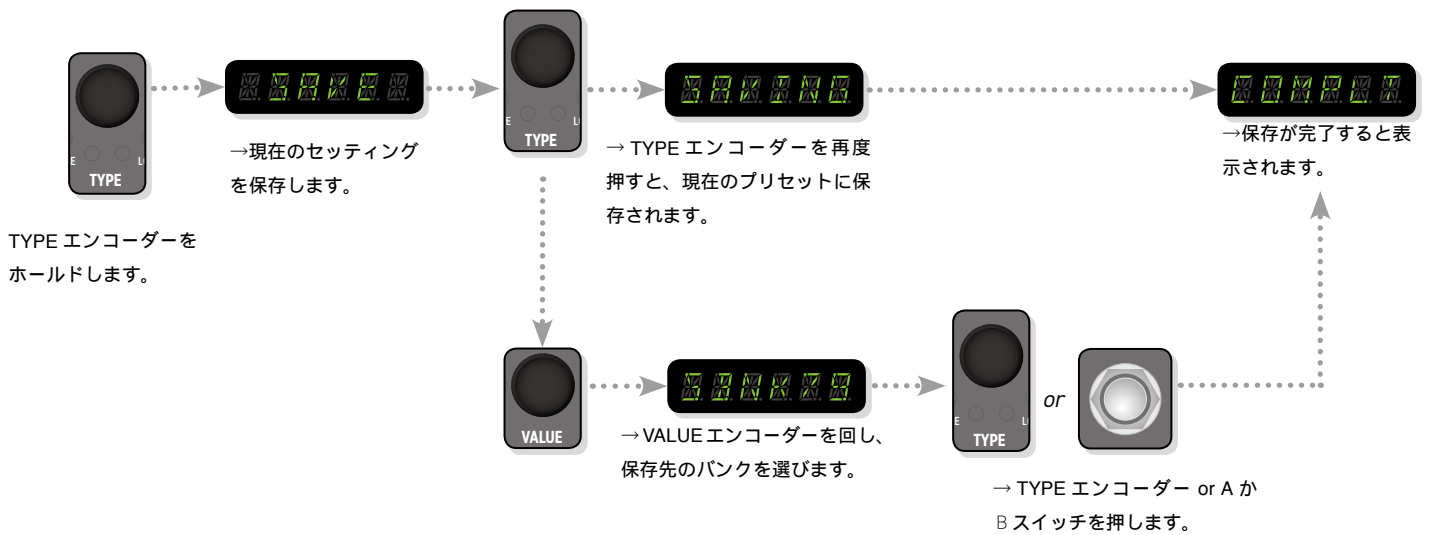
ペダルの接続には、一般的な TRS ケーブルをご使用ください。



バンクとプリセット

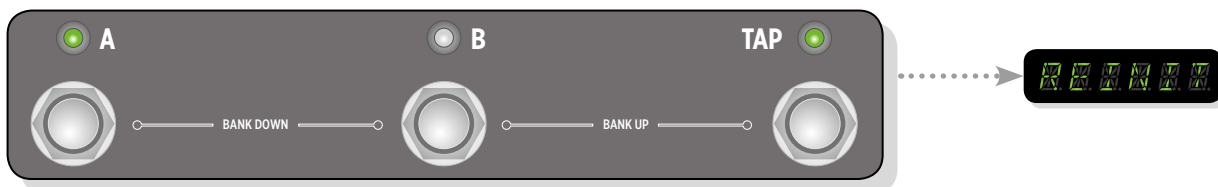
TIMELINE には 100 のバンクがあり、それぞれに A と B プリセットが含まれます。バンクは 0 から 99 でディスプレイ表示されます。工場出荷状態にはバンク 0-49 が 50-99 と同じものが保存されています。

プリセットの保存



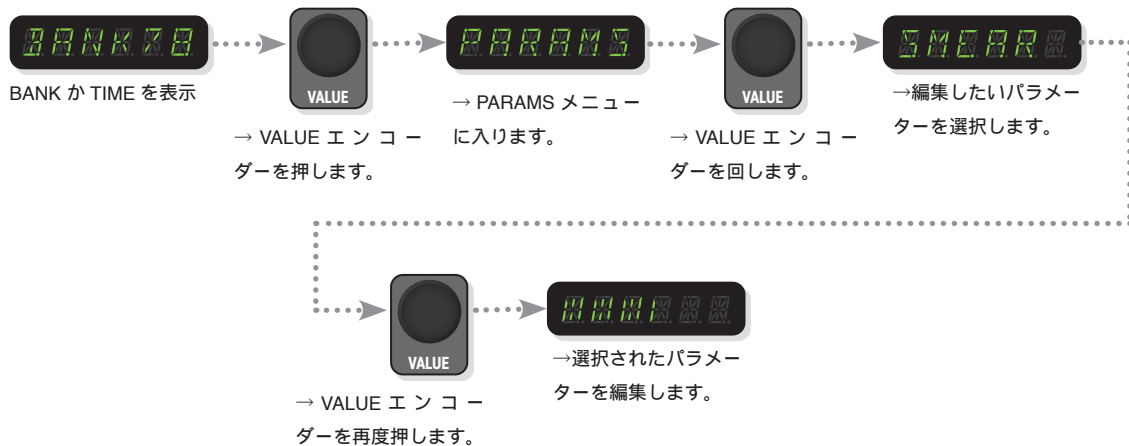
ファクトリー・プリセットを復元する。

⚠ この手順を行うと本機に保存されているカスタム・プリセットは全て消去され、工場出荷時の状態が復元されます。



A と TAP を押しながら本機の電源を入れます。電源が入った後も 5 秒間両スイッチをホールドします。→ REINIT と表示され、ファクトリー・プリセットが復元されます。

パラメーターの編集



ディレイマシーン：共通パラメーター



全てのディレイマシーンには、共通のパラメーターがいくつかあります。以下のパラメーターはプリセットごとに保存されます。



Tap Division

テンポをタップする際、ディレイリピートの音符割を選びます。

以下の音符から選べます：4分音符（デフォルト）、付点8分音符、8分音符、3連符、16分音符



Boost

エフェクトがオンになった時の音量を3dBブースト or カットします。この機能はエフェクトループの音量レベルと合わせる場合や、ソロをディレイでブーストする時など、エフェクトとしても使用できます。



Persist

エフェクトがバイパスされてもディレイ音を残す機能です。エフェクトがバイパスされた後もディレイ音を残すのが望ましい場合に使います。PERSIST がオンの場合、バイパスモードは、自動的にアナログバイパスになります。



プリセットに最大16文字の名前を付けることができます。TYPEエンコーダーを使用して、どの文字を変更するか選択します。VALUEエンコーダーを使用して、アルファベットを選択します。VALUEエンコーダーをクリックすると名前を入力画面が終了します。変更後の設定を保存するためには、TYPEエンコーダーを長押しします。

注) プリセット名を表示するためには、globalの設定の「NAMES」で「ON」または「SCROLL」を選択する必要があります。



Expression Pedal ON/OFF

それぞれのプリセットのエクスペッション・ペダル・インプットを有効/無効を設定します。



Expression Pedal Set

各プリセットのエクスペッション・ペダルの設定を行います。全てのコントロール・ノブをエクスペッション・ペダルに関連付けることができます。エクスペッション・ペダルで、どのノブをコントロールするかを設定するには、Valueエンコーダーが”EP SET”と表示されている時に”HEEL”と表示させます。ペダルを踏む際、かかとを下げている状態での設定値を、ノブを回してセットします。そして、Valueエンコーダーを右に回して”TOE”と表示させ、つま先を踏み込んだ状態での設定値を同じようにセットします。エクスペッション・ペダルは、セットした全てのノブを同時にコントロールすることが可能です。



GLOBAL TAP

次のプリセットを呼び出した際、現在のTap設定が維持されるかを選択します。PRESETを選択すると、切り替え時に、プリセットに記憶されたテンポに変更されます。GLOBALに設定すると、プリセット変更後も現在のテンポが維持されます。



MIDI Clock

MIDI CLOCK を受けるか受けないかを設定します。

ディレイマシーン : DIGITAL

定番のクリスタル・クリアなデジタルディレイです。Filter、Grit と Modulation コントロールを調整して、幅広いディレイトーンを作り出すことができます。このディレイマシンは、モダンなものから、80年代のクラシックなディレイトーンを簡単に再現できます。

パラメーター

DIGITAL ●

SMEAR 周波数特性を劣化させることなく、リピートのアタック音を和らげます。これにより、ウェット信号のアタック音がドライ信号の邪魔をせず、ミックスレベルを上げることが可能になります。リピートレベルを上げることによって、幽玄で幻想的なディレイサウンドが得られます。



OFF



HIGH PASS

ウェット信号の低域をカットします。低い音程のリフを演奏する時や、低音の鳴りを抑えたい場合に有効です。



OFF

20Hz
40Hz
60Hz
80Hz
100Hz

120Hz
140Hz
160Hz
180Hz
200Hz

230Hz
260Hz
300Hz
350Hz
400Hz

500Hz
600Hz
700Hz
800Hz
900Hz

REPEAT DYNAMICS

リピート音が non リニアカーブでレベルが減少し、通常よりも早くディレイ音が消えるようになります。リピートレベルが大きいほど効果がわかりやすく、大きいリピートレベルでも、次に弾くフレーズやコードがより聴こえ安くなります。



OFF

ON

使いこなしアドバイス

HIPASS パラメーターは、スーパークリーンでブライتناディレイ音を作るのにとても有効です。FILTER と GRIT を最小にして周波数をフラットにセットし、試してみましょう。GRIT と FILTER ノブを 12:00 に設定すると“アナログ風”デジタルディレイ、また GRIT を最小にして FILTER を最大にすると“テープエコー風”デジタルディレイが作り出せます。

ディレイマシーン : DUAL

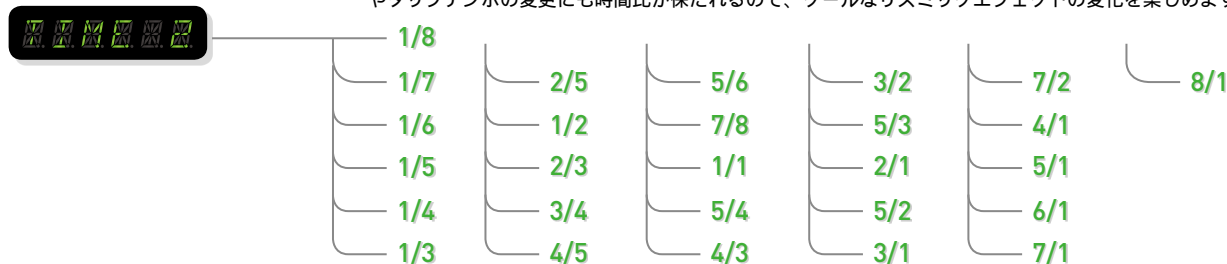
二つの独立したディレイラインを、直列又は並列で鳴らすことができます。二つ目のディレイラインが、一つ目を設定されたタイムの時間比で追従します。それぞれの音に反応し合う、又は並列で別々に鳴るトリッキーなリズムック・ディレイを作り出すことができます。

パラメーター

DUAL ●

TIME 2

ディレイ 1 に対応するディレイ 2 のタイムを設定します。ディレイ 2 は、ディレイ 1 のタイムの比率で設定されるため、TIME やタップテンポの変更にも時間比が保たれるので、クールなリズムックエフェクトの変化を楽しめます。



REPEATS 2



ディレイ 2 のリピートレベルを調整します。TRACK に設定するとディレイ 1 のリピートノブと同じ値になります。TRACK に設定しない場合、ディレイ 2 単体でのリピートレベルを調整できます。この場合、REPEATS ノブはディレイ 1 のリピートレベルのみを変更します。

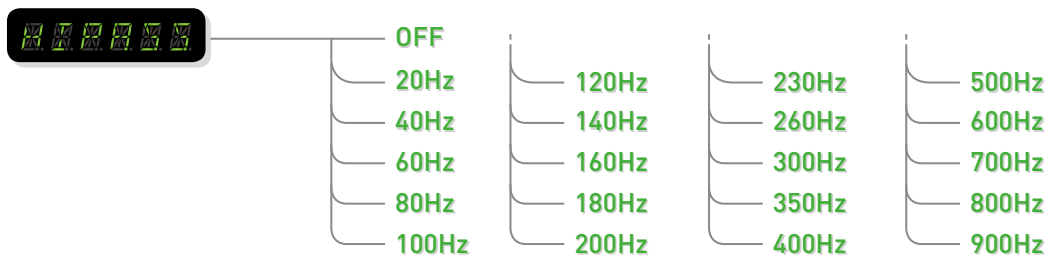
MIX 2



ディレイ 2 のミックスレベルを調整します。TRACK に設定するとディレイ 1 MIX に従います。TRACK に設定しない場合、ディレイ 2 単体でのミックスレベルの調整が行えます。この場合、MIX ノブはディレイ 1 のミックスレベルのみを変更します。

HIGH PASS

ウェット信号の低域をカットします。低い音程のリフを演奏する時や、低音の鳴りを抑えたい場合に有効です。



CONFIGURATION



SERIES(直列)か、PARALLEL(並列)のディレイセッティングを選びます。SERIES の場合、2 つ別々のステレオディレイをペダルボードに並べた時のように、ディレイ 1 の信号がディレイ 2 へと送られます。PARALLEL の場合、入力信号がディレイ 1 とディレイ 2 同時に入力され、それぞれ左右別々のチャンネルから出力されます。(モノラル出力の場合は L チャンネルにまとめられます。)

使いこなしアドバイス

CONFIG パラメーターを PARALLEL に設定すると、左右独立したディレイラインが得られます。(モノラルの場合は L チャンネルにまとめられ、リズムックなディレイの場合に有効です。)

以下のような“ウェット・ドライ”ステレオ設定を行うことも可能です

CONFIG パラメーターを PARALLEL にします。→ MIX ノブを最小にしてドライにします。→ RPT2 パラメーターを TRACK に設定します。→ TIME2 パラメーターを 1:1 にします。→ MIX2 パラメーターでディレイのレベルを調整します。

これでノブは全てディレイ 2 (R チャンネル) をコントロールし、ディレイ 1(L チャンネル) はミックスノブが最小のためドライ信号のみになり、リピート音が R チャンネルだけから聴こえるようになります。

ディレイマシーン：PATTERN

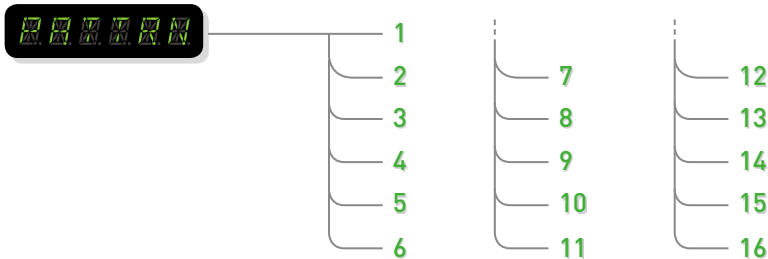
様々なリピートパターンが選択できるディレイです。リズムックでアンビエントなディレイサウンドが簡単に得られます。

パラメーター

PATTERN ●

PATTERN

シンプルなピンポンディレイから複雑なリズムック・ディレイまで、様々なディレイパターンが新しいアイデアを生み出します。これらのパターンはLとR出力を使ってステレオのサウンドを作り出しますが、R出力を使わない場合はL（モノラル）からまとめて出力されます。



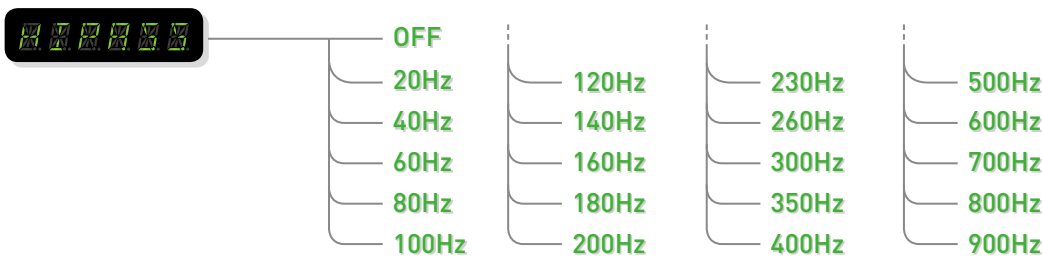
SMEAR

周波数特性を劣化させることなく、リピートのアタック音を和らげます。これにより、ウェット信号のアタック音がドライ信号の邪魔をせず、ミックスレベルを上げることが可能になります。リピートレベルを上げることによって、幽玄で幻想的なディレイサウンドが得られます。



HIGH PASS

ウェット信号の低域をカットします。低い音程のリフを演奏する時や、低音の鳴りを抑えたい場合に有効です。



使いこなしアドバイス

入力される信号が、シンプルでまばらなほど複雑なディレイパターンは効果を発揮します。

Pattern 16は“初期反射”のパターンです。200 m S ぐらいのディレイタイムと多くの REPEAT、SMEAR パラメーターを最大にするとリバーブのようなサウンドが生まれます。遅い MOD SPEED で MOD DEPTH を加え、FILTER と GRIT、HIGHPASS パラメーターを調整してリバーブ・トーンが得られます。

ディレイマシーン : REVERSE

クラシックなリバースディレイを改良しました。入力信号にトリガーされることよってリバース信号が予測でき、リピートさせることも可能です。

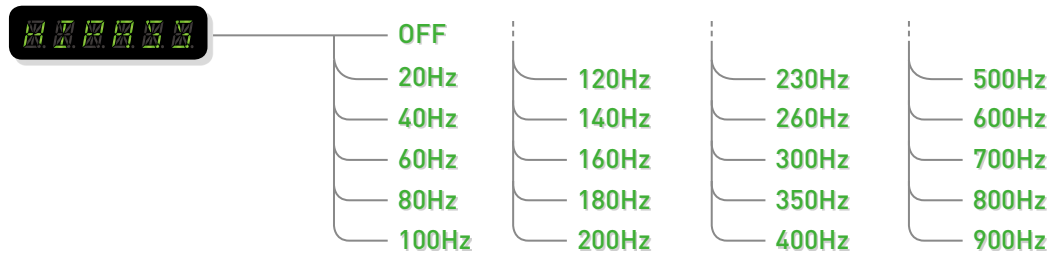
パラメーター

REVERSE 

SMEAR 周波数特性を劣化させることなく、リピートのアタック音を和らげます。これにより、ウェット信号のアタック音がドライ信号の邪魔をせず、ミックスレベルを上げることが可能になります。リピートレベルを上げることによって、幽玄で幻想的なディレイサウンドが得られます。



HIGH PASS ウェット信号の低域をカットします。低い音程のリフを演奏する時や、低音の鳴りを抑えたい場合に有効です。



使いこなしアドバイス

TIME ノブを 500 m S 辺りに設定し、響きの良いコードを鳴らし続けると面白いリズムミックスな効果が得られます。FILTER,GRIT と MOD ノブでさらにサウンドに変化を加えられます。

エフェクトがバイパスと同様の状態に、入力信号にリバースディレイを反応させるようにするには、エクスプレッション・ペダルを使い MIX ノブをコントロールします。HEEL ポジションでは MIX ノブを最小 (ドライ) にし、TOE ポジションで好みのウェット・ミックスレベルに調整します。ペダルをヒールの位置に戻すとディレイをバイパスし、ペダルを踏み込むと、ミックスをドライにしていた時のディレイ音をリバース再生できます。

ディレイマシーン : ICE

入力信号を細かくスライスし、選択したインターバルでプレイバックするディレイです。プレイバックするインターバルは、-1 ~ +2 オクターブまで設定できます。スライスされる信号のサイズも調整でき、プレイバックされるサウンドがそれによって変わります。

パラメーター



INTERVAL

オーディオ・スライスのピッチインターバルを 1 オクターブ下から 2 オクターブ上の間で選択できます。



- Octave
- Major 7th
- minor 7th
- Major 6th
- minor 6th
- Perfect 5th
- Tritone
- Perfect 4th
- Major 3rd
- minor 3rd
- Major 2nd
- minor 2nd
- 50 cents
- 25 cents
- +25 cents
- +50 cents
- +minor 2nd
- +Major 2nd
- +minor 3rd
- +Major 3rd
- +Perfect 4th
- +Tritone
- +Perfect 5th
- +minor 6th
- +Major 6th
- +minor 7th
- +Major 7th
- +Octave
- +Octave & 5th
- +2 Octaves

SLICE

スライスされ、ピッチシフトされるオーディオのサイズを選択します。スライスのサイズはディレイタイムによっても変化します。



- SHORT
- MEDIUM
- LONG

BLEND

ドライ信号と ICE 信号のバランスを調整します。このコントロールの値を半分以下にし、REPEAT ノブを 3 : 00 付近にすると、壮大なサウンドを生み出すことができます。



- D
- I
- I

SMEAR

周波数特性を劣化させることなく、リピートのアタック音を和らげます。これにより、ウェット信号のアタック音がドライ信号の邪魔をせず、ミックスレベルを上げることが可能になります。リピートレベルを上げることによって、幽玄で幻想的なディレイサウンドが得られます。



- OFF
- |||||||

HIGH PASS

ウェット信号の低域をカットします。低い音程のリフを演奏する時や、低音の鳴りを抑えたい場合に有効です。



- OFF
- 20Hz
- 40Hz
- 60Hz
- 80Hz
- 100Hz
- 120Hz
- 140Hz
- 160Hz
- 180Hz
- 200Hz
- 230Hz
- 260Hz
- 300Hz
- 350Hz
- 400Hz
- 500Hz
- 600Hz
- 700Hz
- 800Hz
- 900Hz

使いこなしアドバイス

BLEND パラメーターをドライに近い設定にして REPEAT 数を多くすると、深く擾乱な雰囲気が出ます。ICE 信号はリピート中で繰り返されます。更に MOD で奥行も追加できます。

ディレイマシーン : DUCK

プレイに反応するダイナミック・ディレイ（ダッキング・ディレイ）で、反応感度とリリースタイムが調整できます。Sensitivity / 感度を増やすと、ダッキングエフェクトの反応がより明確になります。

パラメーター

DUCK

SENSITIVITY

入力信号に対するダッキング機能の感度を調整します。高くセッティングすることによってキレの良いダッキング効果が得られます。ギターの出力が元々低い場合、高くセッティングすることによって、高い出力のギターと同じ反応が得られます。低いセッティングでは、緩やかなダッキング効果が得られます。



|||||

RELEASE TIME

ダッキング効果のリリースタイムを設定します。これは演奏を止めた後に、ディレイ信号がどれだけ早くフルレベルに戻るのかを決めます。早いリリースタイムと激しいダッキングではドラマチックなサウンドが得られ、遅いリリースタイムと適度なダッキングでは緩やかなサウンドが生まれます。



0.01

0.05

0.10

0.15

0.20

0.25

0.30

0.35

0.40

0.45

0.50

0.55

0.60

0.65

0.70

0.75

0.80

0.85

0.90

0.95

1.00

DUCKING FEEDBACK

フィードバック・ダッキング・パラメーターを設定します。GATE の場合、演奏時はリピートノブが最小に設定され、演奏を終えるとすぐに元のセッティングに戻ります。激しいダッキングの中での単音弾きの場合に威力を発揮し、ドライサウンドでのソロの最後の音だけリピートさせることができます。



NORMAL

GATE

HIGH PASS

ウェット信号の低域をカットします。低い音程のリフを演奏する時や、低音の鳴りを抑えたい場合に有効です。



OFF

20Hz

40Hz

60Hz

80Hz

100Hz

120Hz

140Hz

160Hz

180Hz

200Hz

230Hz

260Hz

300Hz

350Hz

400Hz

500Hz

600Hz

700Hz

800Hz

900Hz

使いこなしアドバイス

非常に緩やかなダッキングでは、ディレイのダイナミクスはわずかしか感じることができません。SENS パラメーターを、演奏する時にほんのわずかだけディレイボリュームが下がるように設定し（REPEAT と MIX を高くし、RELEASE を 0.30 付近にすると解りやすい）、RELEASE パラメーターを 0.01 に減らし、FEEDBK パラメーターを NORMAL にします。そして MIX と REPEATS を好みの値に設定します。中毒になりそうなエフェクトが楽しめます。

ディレイマシーン : SWELL

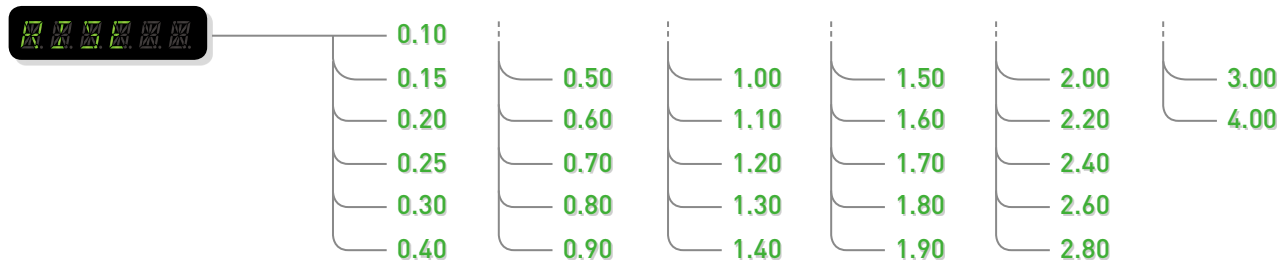
単音でもコードでも、ディレイ音がボリュームペダルを使用したような立ち上がりで再生されます。アタックタイムを調整できるディレイです。目立ちすぎずに、空間的なアンビエント効果を作り出すことができます。

パラメーター



RISE TIME

ディレイ音が立ち上がりにかかるタイムを設定します。立ち上がりタイムは秒でディスプレイ表示されます。ディレイタイムと同じぐらいの値のタイムを設定することによって、ナチュラルなスウェル・エフェクトが得られます。



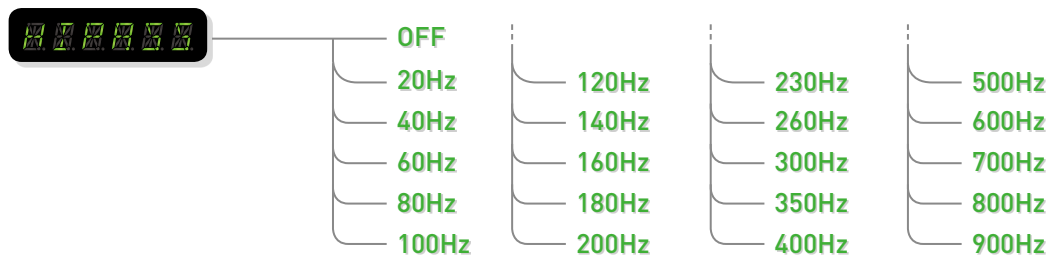
SMEAR

周波数特性を劣化させることなく、リピートのアタック音を和らげます。これにより、ウェット信号のアタック音がドライ信号の邪魔をせず、ミックスレベルを上げることが可能になります。リピートレベルを上げることによって、幽玄で幻想的なディレイサウンドが得られます。



HIGH PASS

ウェット信号の低域をカットします。低い音程のリフを演奏する時や、低音の鳴りを抑えたい場合に有効です。



使いこなしアドバイス

RISE パラメーターをディレイタイムと同じ値に設定することナチュラルなディレイ・スウェル効果が得られます。MIX ノブを最大にするとディレイのみが出力され、ボリュームペダルを使用した時のようなスウェル効果が得られます。

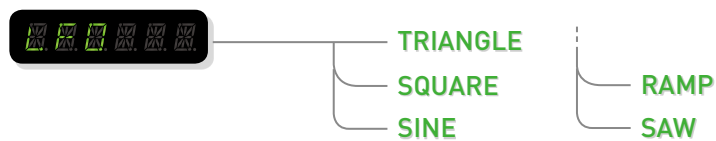
ディレイマシーン：TREM

リピート音にトレモロがシンクロナイズドされたディレイです。トレモロ波形を複数のLFOから選択できます。

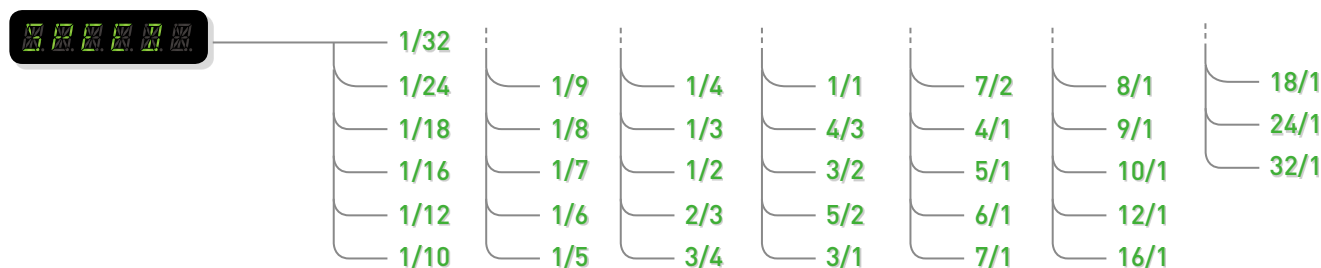
パラメーター



LFO ディレイ信号のトレモロ・エンベロープをコントロールするためのLFO波形を選択します。音がオン/オフされるタイプのトレモロディレイはSQUARE、よりスムーズなサウンドはSINE波形を選択します。SAW波形で速いLFOスピードを選択するとマンドリンのような効果が得られます。



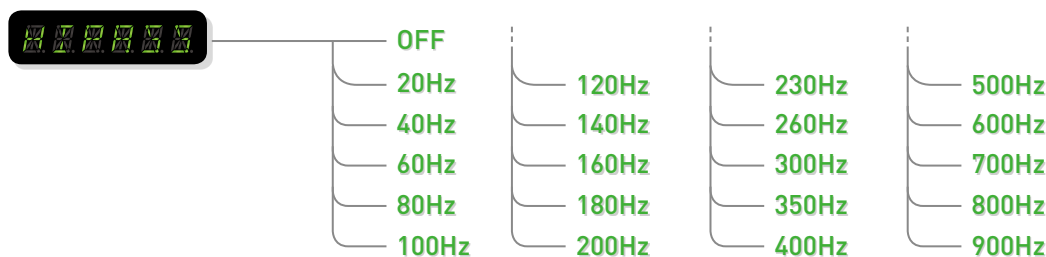
SPEED ディレイタイムに対するトレモロ波形のスピードをコントロールします。DELAY TIME ノブや TAP フットスイッチでディレイタイムを変えると、LFO はディレイタイムにシンクロナイズされます。



DEPTH LFO 波形の振幅を調整します。最大値にセッティングした場合、ディレイとして聞こえません。



HIGH PASS ウェット信号の低域をカットします。低い音程のリフを演奏する時や、低音の鳴りを抑えたい場合に有効です。



使いこなしアドバイス

SAW モード (3:1、4:1、etc) で速いLFOスピードを選ぶと、ピックを高速で弾いているような効果が得られます。遅いLFOスピードでのRAMPモードではリバースエンベロープ効果が得られます。SQUAREとSINEで速いLFOスピードにすると、定番のトレモロトーンベースの全く新しいサウンドを作れます。MIXコントロールとDEPTHパラメーターを調整するとサウンドに激しさを加えることができます。

ディレイマシーン：FILTER

リピート音にシンクロナイズされたスイープフィルターを加えたディレイです。フィルターはディレイの前後どちらにでも挿入することが可能です。

パラメーター

FILTER

LFO

ディレイ信号のフィルターエンベロープをコントロールする LFO 波形が選択できます。遅い Speed で Sine を選択すると空間的なサウンドを作り出すことができます。速い Speed で Random LFO と高い FilterQ を選択すると、未来的なサウンドが作り出せます。



- +Triangle
- Triangle
- Square
- +Square
- +Sine
- Sine
- Ramp
- Saw
- Random
- Down
- Up

使いこなしアドバイス

SINE、TRI と SQR の LFO 波形の前に付いている “+” や “-” は、LFO がプレイとシンクロナイズされた時の波形の極性を表しています。“+” LFO 波形は信号の入力と同時に最も高い周波数域に達します。また “-” LFO 波形は入力と同時に最も低い周波数域に達します。

SPEED



LFO がディレイタイムを追従する時間比を選択します。

- 1/32
- 1/24
- 1/18
- 1/16
- 1/12
- 1/10
- 1/9
- 1/8
- 1/7
- 1/6
- 1/5
- 1/4
- 1/3
- 1/2
- 2/3
- 3/4
- 1/1
- 4/3
- 3/2
- 5/2
- 3/1
- 7/2
- 4/1
- 5/1
- 6/1
- 7/1
- 8/1
- 9/1
- 10/1
- 12/1
- 16/1
- 18/1
- 24/1
- 32/1



- OFF
- |||||||

DEPTH

フィルタースウィープの深さ（激しさ）を選択します。スイープの中間点を設定する Filter ノブと併用することによって好みのスイープレンジに調整することが可能です。

FILTER Q

スイーピングフィルターの Q（レゾナンス）を調整します。低い値では幅広いレスポンスと低いレゾナンス特性のマイルドなフィルタリング効果が得られます。高い値は、よりシャープなレゾナンスピークを作り出し、ドラマチックなスイーピングと特殊効果が得られます。



- 0.5
- 0.7
- 1.0
- 1.2
- 1.5
- 2.0
- 2.5
- 3.0
- 4.0
- 5.0
- 7.0
- 10.0



- PRE
- POST

LOCATION

このパラメーターは LFO フィルターをディレイラインの前 (PRE)、又は後 (POST) に挿入できます。これらによるサウンドの違いは大きく、POST のほうがよりはっきりとエフェクトがかかります。



HIGH PASS

ウェット信号の低域をカットします。低い音程のリフを演奏する時や、低音の鳴りを抑えたい場合に有効です。

- OFF
- 20Hz
- 40Hz
- 60Hz
- 80Hz
- 100Hz
- 120Hz
- 140Hz
- 160Hz
- 180Hz
- 200Hz
- 230Hz
- 260Hz
- 300Hz
- 350Hz
- 400Hz
- 500Hz
- 600Hz
- 700Hz
- 800Hz
- 900Hz

使いこなしアドバイス

FILT-Q パラメーターは、フィルターのレゾナンスやシャープネスを調整します。高いセッティングでは、フィルターのレゾナンス帯域での倍音増加によって、ウェット信号の音量が大きく感じる場合があります。音量変化に応じて MIX ノブでウェットレベルを調整しましょう。

ディレイマシーン : LO-FI

ディレイ信号の音質を劣化させることができます。フィルタリング、バイナル音、ロー・ビットレート・ディストーション、サンプル・レート・エイリアシング、etc を加えることができます。

パラメーター



SAMPLE RATE 96kHz～750Hzの間でサンプルレートが選択できます。サンプルレートが低くなるにつれて、エイリアシングによってリピート音が劣化します。

750Hz	5 kHz	10 kHz	19 kHz
1 kHz	6 kHz	11 kHz	24 kHz
1.5 kHz	7 kHz	12 kHz	32 kHz
2 kHz	8 kHz	14 kHz	48 kHz
3 kHz	9 kHz	16 kHz	96 kHz
4 kHz			

BIT DEPTH ビット数を 32bit～4bit まで下げることができます。ビット数を下げるに従って、ファジーでクランチャーな歪みが増えてきます。

4 Bit	7 Bit	11 Bit	16 Bit
4.5 Bit	7.5 Bit	12 Bit	18 Bit
5 Bit	8 Bit	13 Bit	20 Bit
5.5 Bit	9 Bit	14 Bit	24 Bit
6 Bit	10 Bit	15 Bit	32 Bit
6.5 Bit			

MIX Lo-fi 信号と原音をミックスします。原音と劣化されたディレイサウンドを混ぜることや、Lo-fi サウンドのみを出すことができます。

D I L

VINYL 33 1/3 レコードのランダムなバイナル・ダスト・ノイズとスクラッチ音が、dVynil テクノロジーによって再現されます。DYNAMIC コントロールはリピート音のみに発生するバイナルノイズが追加されます。STATIC コントロールは常に発生するバイナルノイズで、曲のイントロ、アウトロや間奏で使用できます。

D III (dynamic)
S IIIII (static)

FILTER SHAPE 電話、ビクトロラ、AM ラジオ、メガホンなどの特徴的なサウンドからインスパイアされたフィルターが選択できます。ミックスされた Lo-fi と原音信号 (dVynil ノイズも) が、選択されたフィルターを通過します。

OFF	5 (Cheerleader's Plastic Megaphone)
1 (Portable Vintage Amp)	6 (Antique Telephone Ear Piece)
2 (Victrola Phonograph)	7 (Cell Phone)
3 (70s Clock Radio)	8 (Apartment Intercom)
4 (Bullhorn Megaphone)	

使いこなしアドバイス

2ms の最小ディレイタイムで MIX を 100% ウェットに設定します。すると、ビット・クランチャやサンプルレートの劣化、フィルタリングが使い、リアルタイムでローファイ・サウンドを楽しむことができます。この状態でも、全てのノブとパラメーターは使用可能です。さらに、MOD SPEED と MOD DEPTH でディレイラインをモジュレートして、コーラス、フランジャー、ピブラートなどのモジュレーションエフェクトも得られます。モダンなデジタル・モジュレーション・エフェクトを作りたい場合は、SAMPLE を 96kHz、BITS を 32Bit に設定し、FILTER パラメーターを OFF にします。FILTER と GRIT ノブと Lo-Fi パラメーターを組み合わせると、ハイファイ・サウンドからビンテージから雑音まで再現できます。試してみましょう。

ディレイマシーン : dTAPE

スライド式ヘッドのテープディレイ・システムを再現しました。

パラメーター



TAPE SPEED

FAST を選択すると原音に忠実な高い音質のサウンドが得られます。NORMAL を選択すると、スタンダードなテープマシーンを再現します。Wow/Flutter (Mod Depth ノブ) と Tape Crinkle (Mod Speed ノブ) はテープスピードに追従し、幅広いテープマシーンの特性を再現します。



FAST
NORMAL

使いこなしアドバイス

Wow/Flutter と Tape Crinkle のエフェクトは、テープスピードパラメーターに追従します。FAST では原音に忠実なサウンドになり、周波数の帯域幅も広がります。NORMAL はよりウォームなテープサウンドが再現されます。NORMAL テープスピードで高い SPEED と DEPTH (Wow/Flutter と Tape Crinkle) のセッティングの場合、古い、メンテナンスされていないテープマシーンのようなサウンドが再現されます。

LOW END CONTOUR

低音域をフラットから過激なハイパスまで加工できます。特にリピート音が多い場合は、テープマシーンのサウンドを再現するのに重要な要素です。



+ || -

KNOB FUNCTIONS

dTape では、4 つのコントロール・ノブは他のディレイマシーンとは異なる機能に割り当てられています。



TAPE AGE

FILTER ノブは TAPE AGE として機能します。これは、昔ながらのテープディレイマシーンの経年変化によるテープ劣化をコントロールします。テープは劣化するにつれて周波数帯域が制限されていきます。TAPE AGE コントロールはこの症状を再現しています。最小に設定すると、新品テープと同様に全ての周波数帯域が再現されます。時計回りにノブを回すと、テープが劣化した様にダークなサウンドに変化していきます。

TAPE BIAS

GRIT ノブが TAPE BIAS を設定します。このコントロールは、バイアス電圧をアンダー・バイアスからオーバー・バイアスまで調整できます。バイアスはヘッドルームとダイナミックレンジを決定します。高いバイアスレベルは、エコーの音量を小さくし、ヘッドルームも限定します。低いバイアスレベルは、クリーンなエコーと高いヘッドルームが得られます。9 : 00 にノブを調整すると、適正にバイアスが調整されたマシーンを再現できます。非常に高い周波数レスポンスの低バイアスマシーンを再現するには、このコントロールノブを最小にセッティングします。

WOW & FLUTTER

DEPTH ノブが WOW&FLUTTER を調整します。このコントロールは、テープマシンのメカ機構で起こるテープスピードの揺れを調整します。これがテープマシーン特有のモジュレーションを発生します。ノブを最小にすると、完璧にチューニングされた、メンテナンスの良いテープマシーンが再現されます。ノブを最大に回すと、メンテナンスが必要なテープマシーンのサウンドに変わります。これら両極のセッティングの間では、ナチュラルなテープモジュレーションが得られます。

TAPE CRINKLE

SPEED ノブが TAPE CRINKLE 機能を調整します。テープ自体の摩擦、しわ、継ぎ目、付着物によるサウンドへの影響を再現します。TAPE CRINKLE の症状はテープスピードを追従します。ノブを最小にすると、新品でクリーンなテープが再現されます。ノブを最大に回すと、何年間も使い古されたテープが再現されます。

使いこなしアドバイス

最小のバイアス設定の際は、REPEATS を減らすと不要な高域を押さえることができます。

ディレイマシーン：dBUCKET

クラシックなアナログ BBD (バケット・ブリゲイド・ディレイ) を完璧に再現しました。

パラメーター

dBUCKET

RANGE ディレイ信号を発生するバケット・ブリゲイド回路数を切替えます。SINGLE の場合
1 x 4096 段階の BBD チップを想定しており、DOUBLE は同チップ x2 を直列に使ったディレイ・システムを想定しています。



SINGLE
DOUBLE

使いこなしアドバイス

RANGE パラメーターは、1 チップ dBucket ディレイ、又は 2 チップ dBucket ディレイを選択します。1 チップディレイ (SINGLE : 400mSec) は、2 チップ (DOUBLE : 800mSec) の半分のディレイタイムです。クロックによる悪影響も 2 チップディレイは、同タイム設定で半分しか発生しません。300ms ~ 400ms 辺りのクリーンなディレイを使用したい場合は、DOUBLE を低い GRIT 設定で使用します。初期のアナログディレイのようなウォームでファジーなローファイ・サウンドを再現したい場合は、SINGLE で GRIT を多めに設定し、FILTER を 12 : 00 ~ 5 : 00 の間で好みに応じて設定しましょう。

KNOB FUNCTIONS 以下の 2 つのノブが、他のディレイマシーンと違う機能を担当します。



FILTER



GRIT

FILTER

FILTER はリピート音を好みに応じてダークやブライトに調整できます。12 : 00 がフィルターニュートラル設定です。フィルターを時計回りに回すとリピート音はダークになり、リピートをくり返すたびに更にダークになっていきます。BUCKET LOSS が繰り返し増えてリピート音は更にダークになります。FILTER を反時計回りに回すと、ウェット信号にポスト・ハイシェルフ EQ で高域がブーストされて、リピート音がよりブライトになります。

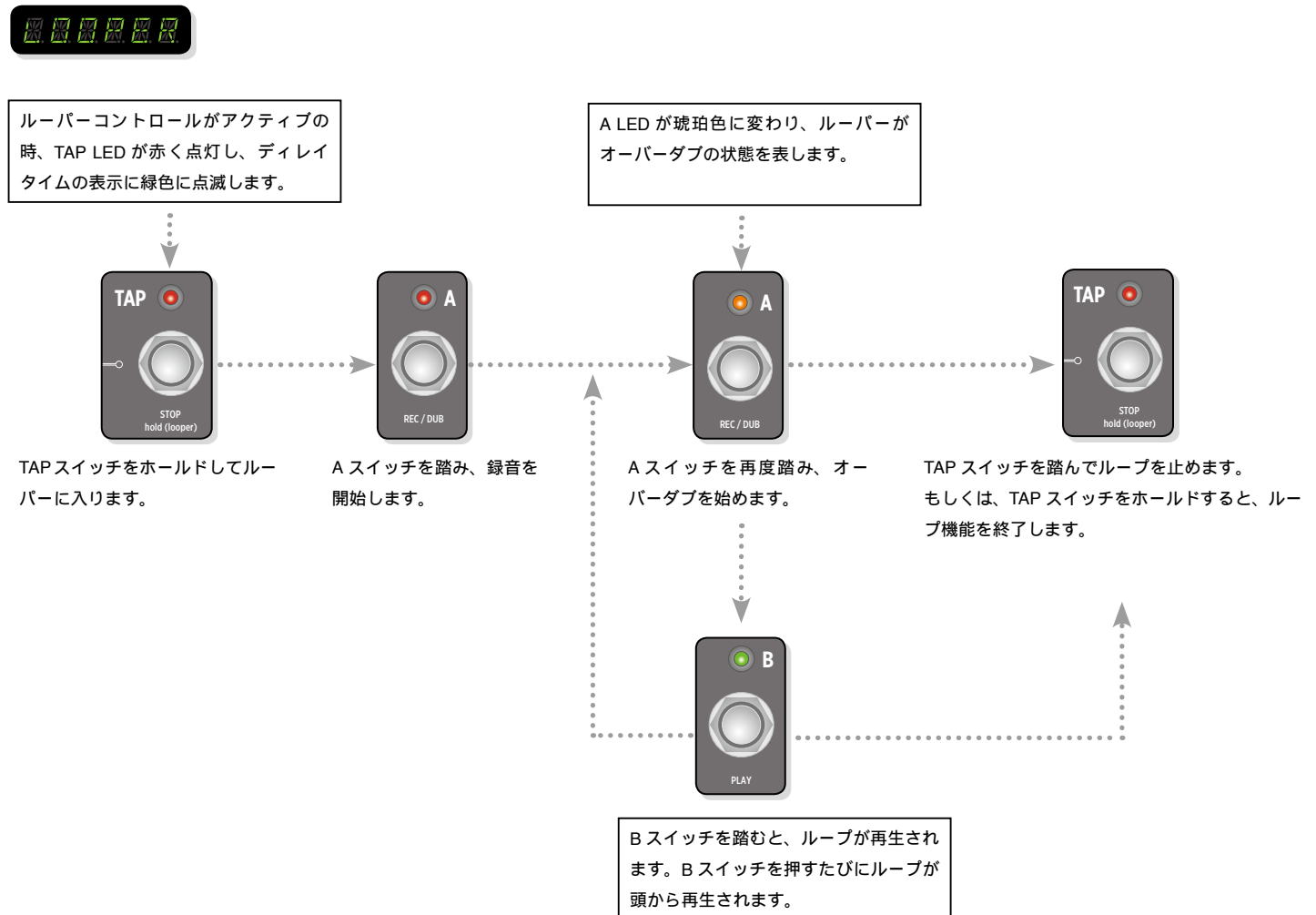
BUCKET LOSS

GRIT ノブは BUCKET LOSS として機能します。このコントロールは (BBD) チップ各段で起こるロス量を dBucket アルゴリズム中で再現しています。最小の値ではロスは「0」で、最大値ではノイズロスが最大になります。3 : 00 に設定すると最大のディストーションロスに加えノイズが少し加えられます。3 : 00 以降は、それにノイズロスが増えていきます。

使いこなしアドバイス

クラシックなアナログディレイは一回目のリピートがブライトで、続くリピート音から次第にダークになっていきます。この再現には、FILTER ノブを最小値にして GRIT (BUCKET LOSS) を 12 : 00 にしてから、ディレイタイムを設定します。FILTER の影響ではなく、BUCKET LOSS が次第にリピートの周波数域を削りと、原音から遠ざかるサウンドに変えて行きます。

ルーパーの設定



ループはバックグラウンドとして再生することが可能です。通常であればループ機能を終了させた時、ループ再生は停止します。ループ機能を終了しても、ループデータを再生し続けるには、LOOPER EXIT GLOBAL を PLAY に設定します。ループ機能は MIDI でもコントロールすることができます。

LOOPER GLOBALS
GLOBAL メニュー中に、ループレベル、ループ機能を終了させる際の設定、ループ機能のプリポスト設定があります。詳細は GLOBALS セクションをご覧ください。

LOOPER MIDI CONTROL
ループ機能は、MIDI でコントロールできます。MIDI ノート番号を 0 より大きいベロシティで送ります。録音、再生、停止、そしてハーフスピード、全て MIDI でコントロール可能です。ノート番号は MIDI スペシフィケーションをご覧ください。

グローバルメニュー

	グローバル・パラメーターはプリセットに関係なく変更／設定が可能です。		
	MS BPM	TIME DISPLAY ミリ秒もしくは、BPM でのディレイタイム表示を設定します。	
	PRE POST	LOOPER LOCATION プリディレイもしくは、ポストディレイ、ルーバー位置を切り替えます。	
		LOOPER LEVEL ルーバーのプレイバック音量を設定します。	
	PLAY STOP	LOOPER EXIT ルーバー終了の際、ループを停止するか、バックグラウンドで再生し続けるかを設定します。	
	TRUE BYPASS BUFFERED BYPASS	BYPASS SET-UP True Bypass / トゥルー・バイパスと Buffered Bypass / バッファード・バイパスを切り変えます。True Bypass では、リレーを使用してバイパスさせることにより、入力信号が他の部品から一切干渉しないようにします。Buffered Bypass では、バイパスシグナルは高いクオリティのアナログバッファーを通過します。	
	CH 1 - 16	MIDI CHANNEL MIDI チャンネルを設定します。1 ~ 16 の間で設定できます。	
	ON OFF	MIDI CONTINUS CONTROLLERS パラメーター変更時、MIDI CC メッセージング (continuous controllers) を送信する (ON) / しない (OFF) を設定します。 ※ MIDI CC は常に受信状態です。	
	ON OFF	MIDI PATCH CHANGE パッチ変更時、MIDI PC メッセージング (patch change) を送信する (ON) / しない (OFF) を設定します。 ※ MIDI PC は常に受信状態です。	
	ON OFF	MIDI THROUGH ON の場合、入力された MIDI メッセージが出力に送られます。	

グローバルメニュー

	<p>BNK 1-99</p>	<p>BANK SCROLL スクロールする最大のバンク番号を設定します。</p>
	<p>PEDAL TAP BANK PRESET LOOPER</p>	<p>EXP INPUT MODE エクスプレッション・ペダル、TAP FAVORITE スイッチ、MULTI スイッチ (全て別売) に使用する EXP インプットを設定します。</p>
	<p>NORMAL KILL</p>	<p>GRY SIGNAL ドライ信号のオン/オフを切り替えることができます。この機能は、アンプの平行・エフェクト・ループに本機を接続する時に便利です。NORMAL に設定すると、ドライ信号が出力され、KILL ではドライ信号がミュートされます。</p>
	<p>OFF ON</p>	<p>SPILLOVER 使用中のプリセットのウェット信号を、次のプリセットに切り替えた後も持ち越すかを選択することができます。 注) デレイ・バッファの関係上、スピルオーバーを有効にするためには使用中のプリセットで 5 秒以上演奏する必要があります。</p>
	<p>OFF ON SCROLL</p>	<p>PATCH NAMES プリセット名の表示方法を変更することができます。 「ON」または「SCROLL」選択時、VALUE エンコーダーを使用してプリセットを切り替えた際には、2 ケタのプリセット番号と、プリセットの名の最初の 3 文字が表示されます。 OFF - バンク番号が表示されます。 ON - プリセット名の、最初の 6 文字が画面に表示されます。 SCROLL - 16 文字のプリセット名が全てスクロールして表示された後、最初の 6 文字が画面に表示され続けます。</p>
	<p>EXIT ALL PR 0A - 99C</p>	<p>Preset Dump MIDI を通じて他の TIMELINE や MIDI レコーダー (コンピューター) にプリセットを送信しコピーする事ができます。プリセットは 個々 (RP 0A~99C) / 全て (ALL) どちらでも送信が可能です。選択後、VALUE を押すと送信が始まります。</p>
	<p>ON OFF</p>	<p>MIDI Clock Sweep TAP テンポから外部 MIDI クロックのテンポに変更した際、デレイのピッチ状態を維持するか、変更するかを選択します。</p>
	<p>ON OFF</p>	<p>MIDI Clock Reset TAP もしくは VALUE でテンポを変更した後、再び外部 MIDI クロックに同期するかを設定します。</p>

グローバルメニュー



OFF
ON

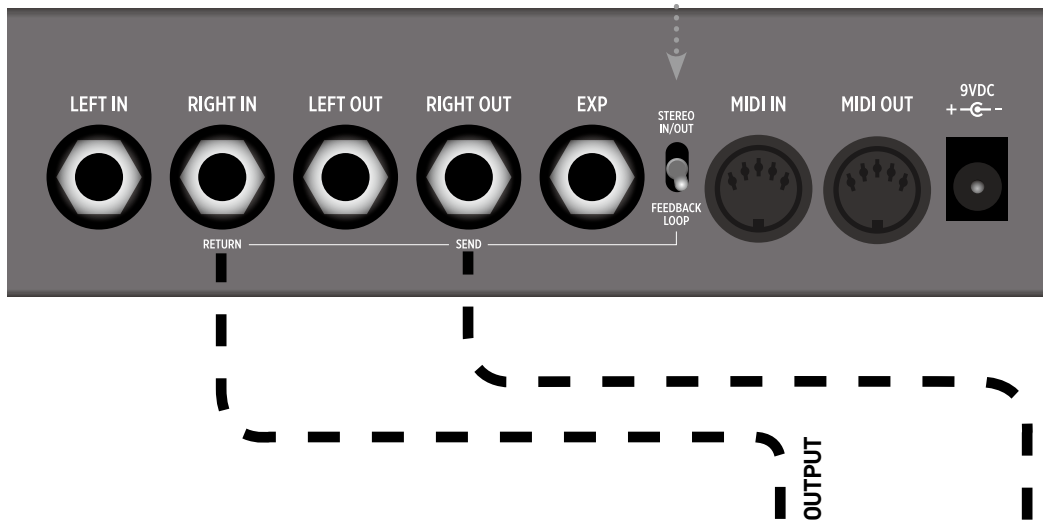
MIDI Send State:

プリセット・チェンジを送信する際、ステータス情報も送信するかを設定します。

FEEDBACK LOOP

スイッチを FEEDBACK LOOP 側に設定すると、RIGHT IN / OUT を使用してエフェクトループを組むことができます。このエフェクトループは、TIMELINE で生成したディレイ音のみ、エフェクトをかけることが可能になります。

⚠ エフェクトループを使用しない場合は、スイッチを STEREO 側に設定してください。



MIDI スペシフィケーション

MIDI CC numbers Value Range

KNOBS:		
Type encoder	19	0-11
Time	3	0-127
Repeats	9	0-127
Mix	14	0-127
Filter	15	0-127
Grit	16	0-127
Speed	17	0-127
Depth	18	0-127
PARAMETERS:		
Tap Division	21	0-4
Boost	23	0-60
Persist	22	0-1
Smear	38	0-18
High Pass	47	0-20
dTAPE - Tape Speed	58	0-1
dTAPE - Low End	59	0-20
dBUCKET - Range	45	0-1
DIGITAL - Repeat Dynamics	56	0-1
DUAL - Time 2	32	0-26
DUAL - Repeats 2	34	0-18
DUAL - Mix 2	33	0-18
DUAL - Config	36	0-1
PATTERN - Pattern	39	0-15
SWELL - Rise Time	44	0-27
TREM - Speed	61	0-34
TREM - Depth	57	0-18
TREM - LFO	29	0-4
FILTER - Q	40	0-11
FILTER - LFO	28	0-10
FILTER - Depth	41	0-18
FILTER - Speed	42	0-34
FILTER - Location	43	0-1
LO-Fi - Mix	51	0-20
LO-Fi - Vinyl	52	0-18
LO-Fi - Sample Rate	49	0-20
LO-Fi - Bit Depth	50	0-20
LO-Fi - Filter	53	0-8
ICE - interval	30	0-29
ICE - slice	46	0-2
ICE - blend	25	0-20
DUCK - Sensitivity	37	0-17
DUCK - Release	55	0-20
DUCK - Feedback	54	0-1

LOOPER		
Record	87	any
Play	86	any
Stop	85	any
Reverse (toggle)	94	any
Full/Half Speed (toggle)	95	any
Pre/Post (toggle)	96	any
Undo (to initial loop)	89	any
Redo	90	any
Looper Level	98	0-17

MIDI パッチ変更

TimeLine のプリセットは 100 バンク (各 2 プリセット) の合計 200 プリセットで構成されています。MIDI プログラム・チェンジ・メッセージを使用して切り替わります。プリセットは下記の順番でナンバリングされます。

BANK 1A = MIDI program # 0
 BANK 1B = MIDI program # 1
 BANK 2A = MIDI program # 2
 BANK 2B = MIDI program # 3
 BANK 3A = MIDI program # 4
 etc ...

MIDI を通してパッチ 0 ~ 127 にアクセスする場合、通所のプログラム・チェンジ・メッセージを送信してください。パッチ 128 ~ 199 にアクセスする場合、MIDI パッチ・バンク・メッセージ (CC#0) を value 1 で始めに送信してからプログラム・チェンジ・メッセージを送信してください。

他の MIDI CC 番号

	CC#	Value Range
A footswitch	80	down=0 up=127
B footswitch	82	down=0 up=127
TAP footswitch	81	down=0 up=127
Infinite Repeats	97	off=0 on=127
Remote TAP	93	any
Expression Pedal	100	0-127
Bypass	102	byp=0 eng=127

MIDI Patch Bank 0 0-1
 (value = 0 or 1, send a 0 to access patches 0 to 127 send a 1 to access patches 128 to 199)

Looper MIDI コントロール

フルタイムのルーパーは、ゼロより大きいベロシティの MIDI ノート送信でコントロールします。

Record	note 0,	velocity > 0
Play	note 2,	velocity > 0
Stop	note 4,	velocity > 0
Reverse (toggle)	note 14,	velocity > 0
Full/Half Speed (toggle)	note 16,	velocity > 0
Pre/Post (toggle)	note 17,	velocity > 0
Undo (to initial loop)	note 7,	velocity > 0
Redo	note 9,	velocity > 0

MIDI Time Clock

本機は、MIDI 入力に MIDI クロックを受けることができ、ディレイ・タイムを同期することが可能です。

主な特徴

- ・ 12種類のディレイ・マシーン (アルゴリズム)
- ・ 超低ノイズ&ハイパフォーマンス 24-bit 96kHz A/D & D/A コンバーター
- ・ ハイエンド HiFi レベルの入出力アナログ・セクション
- ・ アナログ・ドライ信号、"0" レイテンシー・ドライ信号 (原音は AD されません)
- ・ 超ハイパフォーマンス SHARC DSP
- ・ プリセット選択、エフェクト・バイパス、ルーバー・コントロール、タップテンポを操作するメタルフット SW を搭載
- ・ 全てのディレイ・マシーンで設定可能なパラメーター
- ・ 30秒 / 24bit のステレオ Looper 機能搭載、ルーティング可能なプリ又はポストディレイ、フル MIDI 機能
- ・ ステレオ In & Out
- ・ エクスプレッションペダル入力。選択指定自由、複数のアサイン & コントロール幅も自在。プリセット毎の異なるエクスプレッションのアサインがメモリー可能
- ・ ディレイのフィードバックに外部エフェクターを挿入できるフェードバック・ループ
- ・ +/- 3dB Boost/Cut プリセット毎に設定 & プリセット可能
- ・ 常時使用可能なタップテンポ・フットスイッチ (EXP スイッチを外部タップテンポ・スイッチとして使用可能)
- ・ 軽量で頑丈なアルミニウム製ケース
- ・ 直感的に操作可能なインターフェース
- ・ ツォルナー・バイパスとアナログ・バッファード・バイパスが切換え可能なバイパス

スペシフィケーション

入力インピーダンス： 1Meg Ohm

出力インピーダンス： 100 Ohm

S/N： 115 dB typical

A/D & D/A： 24-bit 96kHz

周波数特性： 20Hz to 20kHz

最大入力レベル： +8dBu

バイパス・スイッチング： ツォルナー・バイパス (電子リレー・スイッチ) または アナログ・バッファード・バイパス (ディレイ音を残り方を設定する「トレイル」選択可能)

サイズ： 172mm x 130mm x 33mm (リア 49mm)

電源： 9VDC 入力 (センター・マイナス) / 300mA 必須

この度は、DAMAGE CONTROL 社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。本製品は、DAMAGE CONTROL 日本総代理店・株式会社オールアクセスが購入後 1 年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書 (購入期日及び販売店捺印必須) を提示の上、ご購入の販売店または、お近くの楽器販売店まで御依頼ください。保証書の提示が無い場合、保証内であっても 1 年以内の保証の対象にはなりません。本書に記載された文章、図版は全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用のみを許諾しております。

ファームウェアのアップデート手順

1：ファームウェアのバージョンを確認する



1：TAP スイッチを押し
たまま TIMELINE の電
源をオンにします。

2：TYPE エンコーダーを使用して「REVISION」を選択します。

3：ファームウェアの
バージョンが表示され
ます。

2：機器の接続



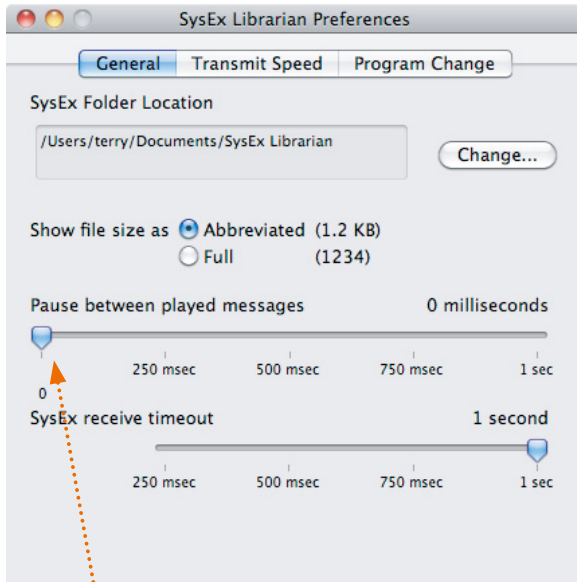
コンピューターと MIDI インターフェースを接続し、
インターフェース側の MIDI OUT と、TIMELINE の
MIDI IN を MIDI ケーブルで接続してください。

TIMELINE の電源を ON にしてください。

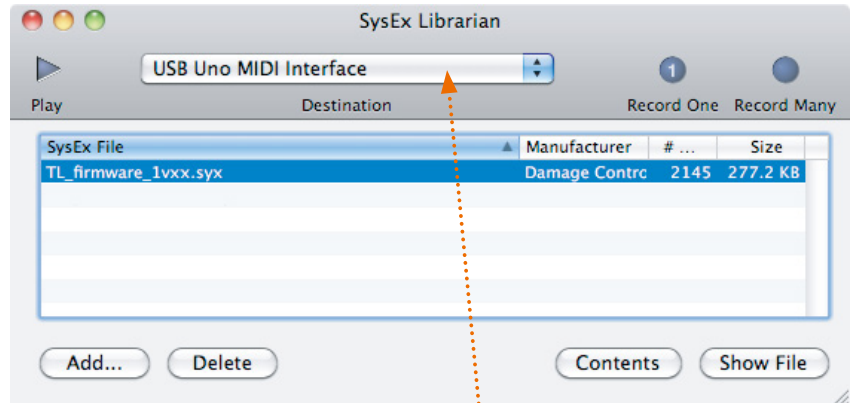
3-a : MIDI ソフトウェアを使用する — Macintosh の場合

下記の URL から Sysex Librarian をダウンロードし、起動させます。(フリーソフト)

<http://www.snoize.com/SysExLibrarian/>

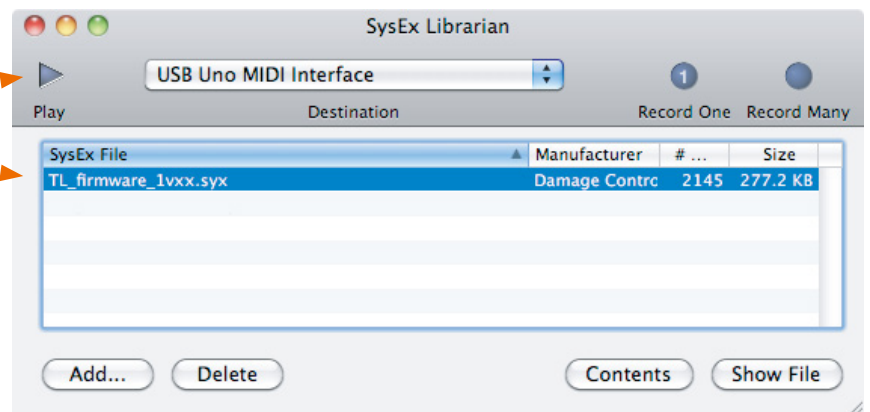


「Pause between played messages」の数値を「0」に設定します。



Sysex Librarian のメイン・ウィンドウにアップデート用ファイルをドラッグ & ドロップします。プルダウン・メニューから使用する MIDI インターフェースを選択してください。

アップデート用ファイルを選択し、「play」をクリックします。



TIMELINE の画面上に「Loading」と表示されます。

アップデートが終了すると、画面が通常使用時と同じ状態に切り替わります。

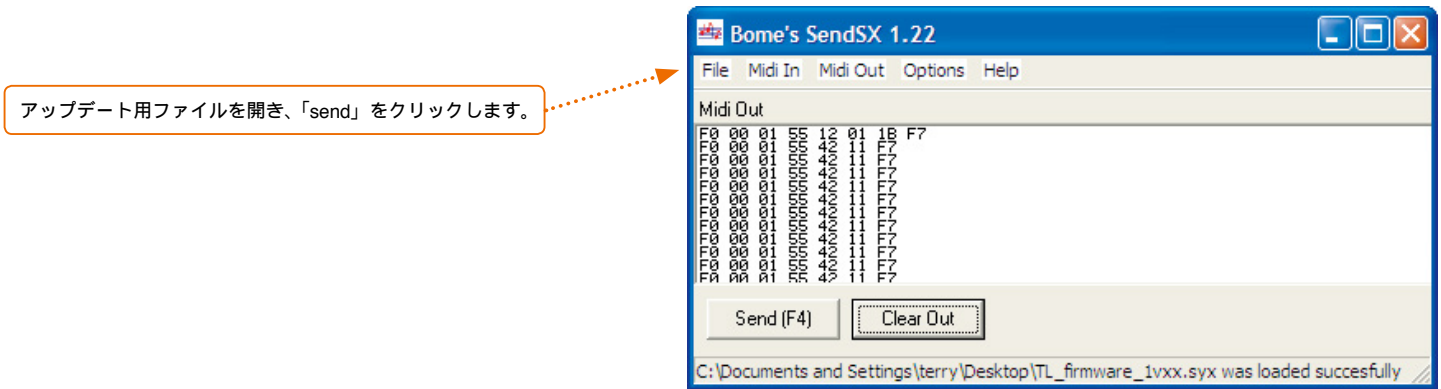
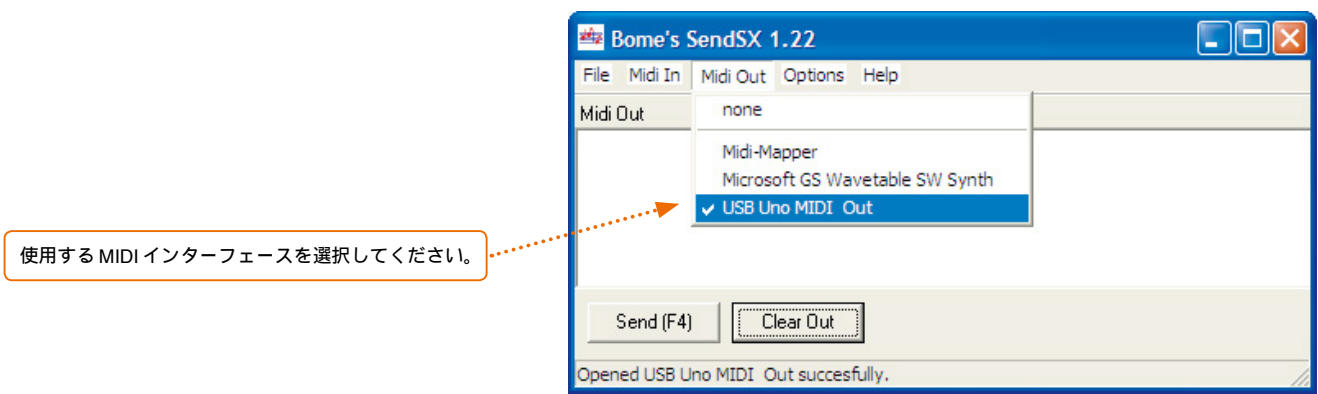
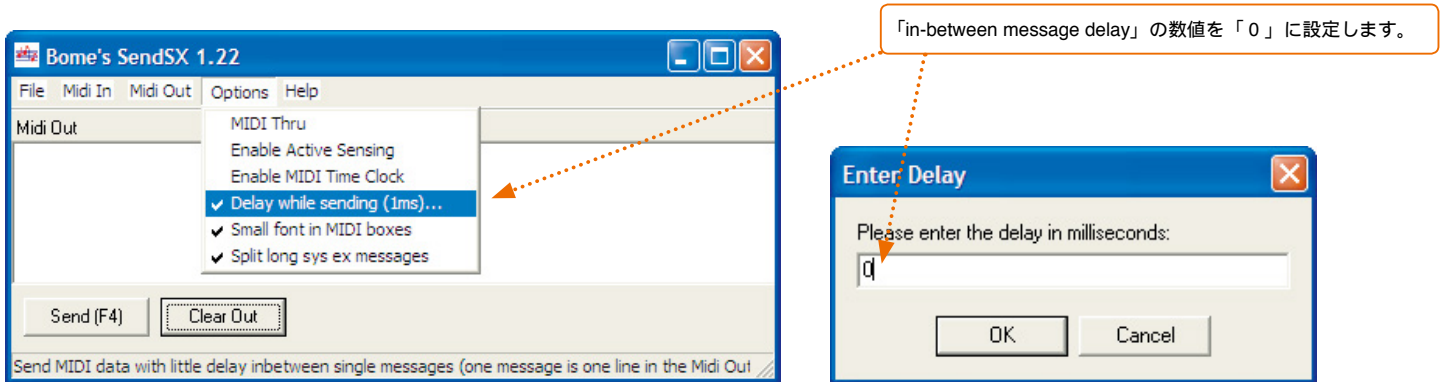
3-b : MIDI ソフトウェアを使用する — Windows の場合

下記の URL から SendSX をダウンロードし、起動します。(一定期間無料で使用可能なシェア・ウェア)

※ v1.22 および v1.4 での正常なアップデートを確認しております。一部バージョンでは予期せぬ不具合が発生する可能性も考えられるため、対応バージョンをダウンロードして頂くことをお勧めします。

※ サードパーティーのソフトウェアのため、予告なく仕様変更される場合がございます。

<http://www.bome.com/products/sendsx>



TIMELINE の画面上に「Loading」と表示されます。

アップデートが終了すると、画面が通常使用時と同じ状態に切り替わります。

ファームウェアのバージョン確認方法

1. Tap を押したまま電源を投入してください。
2. 画面に「TEST」と表示されたらスイッチを離します。 z
3. TYPE を回して「REVISN」と表示されたら TYPE を 1 回押してください。
4. 現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

この度は、DAMAGE CONTROL 社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。本製品は、DAMAGE CONTROL 日本総代理店・株式会社オールアクセスが購入後 1 年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店または、お近くの楽器販売店まで御依頼ください。保証書の提示が無い場合、保証内であっても 1 年以内の保証の対象にはなりません。本書に記載された文章、図版は全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用のみを許諾しております。